



発行所 福井県大野郡和泉村公民館 印刷所 松浦印刷所

所得税の確定申告と納税は三月十五日限りです。怠らざる期限内に手続をして下さい。

税務署から

又将来福井県の電力需要が増加すると、全国的視野において、福井県だけの電力不足が放任される筈のものでないかと考えられる。電力料金においても夫々電力会社の社内事情や、電力料金に対する全国的な世論の揆頭も考えられ、割安料金も永久的に期待できるかどうかは疑問である。

奥越電源開発 企業者決定問題について 声明書発表

情もあつての事とは思ふけれども、一方に電源開発株式会社の競願者もあることであり、吾々が得ている中央の情報では、これらの運動は徒らに電源開発の決定を遅らせるだけである。或は遅延策の手先になつているなどの噂さえ流れており、和泉村としては誠に迷惑至極である。

矢先、突如九頭竜川電源開発問題が発生し村の大半が水没を予想されるに至つた。加うるに2ヶ年連続の大洪水におそわれ、又多年宿望の越美北線も昨秋、福井一勝原間の開通を見たるも、勝原以遠和泉村までの延長工事計画は、ダムの位置、水没範囲等不明のため電源開発問題決定待ちの形になつている。

近時新聞紙上に、福井県内に北電支持を表明するばかりでなく、進んで北電支持運動を起す向がある事が報道せられる。その一例をみると昨年10月26日朝日新聞に、県経済団体協議会を中心とする「奥越電源開発促進連盟」の動きがあり、全12月20日の朝日新聞にも此の連盟の動きがみられ、本年2月14日中部日本新聞には大野市議会が北電支持を議決したと報じている。

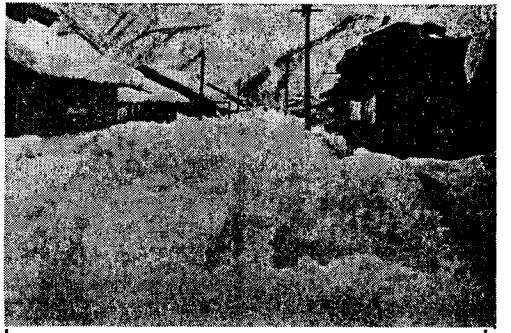
決議書

さきに国の指導勸奨に従つて合併新発足した和泉村は、衆知を集めて新村建設計画にとりかかつた。

第十九回臨時村議会開く

追加予算額二百六十万八千円

第十九回臨時村議会は二月二十二日より同日迄の三日間開かれ、一般会計追加更正予算案など、十一議案について審議され、いずれも原案可決されました。主な内容は次のとおりです。



追加更正予算案 議案第五号、和泉村立幼稚園設置

議案第六号、和泉村立幼稚園授業料徴収条例の制定について 議案第七号、和泉村立中電保育所設置条例の制定について 議案第八号、和泉村単純労働者職員給与の種類の別および基準に関する条例の制定について 議案第九号、和泉村職員退職手当に関する条例一部改正について

Table with 2 columns: 歳入之部 (Income) and 歳出之部 (Expenditure). Rows include items like 1. 村別金, 2. 地方交付税, 3. 分担金及負担金, 4. 国庫支出金, 5. 国庫支出金, 6. 寄附金, 7. 歳入合計, 8. 職員給与, 9. 教育費, 10. 社会福祉費, 11. 保健衛生費, 12. 産業経費, 13. 財政管理費, 14. 統計調査費, 15. 諸支出金, 16. 予備費, 17. 歳出合計.

和泉村助役、収入役及び教育委員再任 (二月二十二日議決)

議案第一号、和泉村教育委員会委員任命の同意について 議案第二号、和泉村収入役再任の同意について 議案第三号、昭和三十五年和泉村歳入歳出追加更正予算案 議案第四号、昭和三十五年和泉村特別会計国民健康保険歳入歳出追加更正予算案 (二月二十二日議決)

三月強調目標 (雪害予防) 今年には異常な大雪でした。次のことに気をつけよう。一、道路交通はなだれの警戒おこたりになく 二、子供の川端遊びは転落のものと 三、火事を出しても消火不十分相互に火気取扱に気をつけて 四、各戸の出入口は除雪をこまめに (写真は朝日部落の積雪状況)

国民健康保険についてお知らせ 一、四月一日から二重加入の制度が廃止されますので、三月三十一日迄に加入者の被保険者証を回収致します。二、四月一日現在に於て被保険者証が更新されますので、古い被保険者証と引換えに新しい被保険者証をお渡し致します。三、家族内に移動(出生、死亡、転入、転出)のあつた場合は被保険者証、印鑑持参の上、すぐ手続きをしていただきます。四、今度被保険者証更新の時、忘れずに届けて下さい。

警察よりの注意 (一) 本年は意外な大雪だったのので、まだこの道にも、なだれの出る所が沢山あります。危険のある場所を通行する場合には、最も危険性の少ない時刻を見計らつて通行し、お互に被害にかゝらないよう注意しましょう。 (二) まだ沢山雪があるため、仕事によっては、仕事にかゝられず家に閉じこもつている人も多々と思われ、こうした時に「と博」等に手を出さず、御承知の「と博」等に手を出さず、御承知の「と博」をする人は、一かく千金の夢を見ても、働かないで利益を得ようとすふえ働かないで借金に陥る、家財道具を売却して、ついに泥沼に落ち行くのが通例です。そればかり

春季火災予防に 御協力ください 皆様方の御協力によりまして、火災予防は年々実績が上がつて居ります。これは感謝に堪えません。全国的には昨年はこれまでの最高記録であつて幾多の貴重な人命財産を失つて居ります。十数年来の大雪に見舞われ消防活動も思うにまかせぬ状況であります。春は例年大火の多い季節でありますから、不良電気器具の使用、コタツ、煙突等に注意して下さい。

漁業制度改正について (一) 現在施行されて居ります漁業法は昭和二十六年に改正され漁業法から現在の漁業協同組合に改組し、而も昔の漁業協同組合が共同漁業権の免許と云ふ事になつたので、組合員の皆様は当時の事を想ひ出していただければよく御承知の通り、昭和二十六年の法律改正の時、法に基く組合の認可も与えられず、従つて共同漁業権も免許されず、増殖事業はおろか漁場の管理すらする者もなく濫獲に次ぐ濫獲、而も岐阜県方面から密漁者が相つき、また、湖沼に資源は全く枯渇し遂にはこの地方の(此の地方の)の卵までもおとり取りに取つて果敢を越えても、何等取締りも制限も注意すらも与えられなかつたのであります。斯くの如き状態であつたので

その対象は都市の周辺や奥地でダム施行上今後重要且つ必要な地点が主として入る様であります。漁業制度審議会が審議して居る漁業制度の問題と相呼応するかの如く、建設者はダム工事等の施行を容易にするための土地収用法を改正せんとしつゝ、あるとも聞き及んで居ります。漁業制度改正反対の為昨秋皆さんに署名捺印をしてもらつて政府に提出し、其の後、全国大会並びに近畿地区大会、県大会等の参加及代議士諸先生に陳情する等努力は致して居りますが、此の際組合員各位の深い御理解と御協力を望んでやみません。福井県下に内水面の組合は十八組合で、二、七〇〇名の組合員数であります。平均一組合当り一五〇名の組合員数であるのに、当奥越組合は五〇〇名の組合員を擁し第二位であります。之を地区内住民の総数から割出した場合は、抜けた多数と云ふ事になります。なぜ此の様に昔の漁業会設立当時からも見受けられる様に全村民が漁業組合に関心をもち川に親しみを感じて居るのかと申せば、我々の先租は少く共生魚と云えば川魚しか知らなかつた筈です。県下で最も僻村で牛の背以外荷物の運搬に頼れなかつた時代には海に住んで居る魚は獲つた時から体にとが吹いて居るものとし知らずに生活して居たのでしよう。先租は五体保持する為の蛋白質資源を此の九頭竜川から求め、而も現在に引續がれて来たもので、僻村ながら故にあらゆる不便も忍ばねばならない事もありましよう。先租が無上の愛着を生生活上欠けからざるものとして守りつづけて来た此の川の此の漁業権を総べての力を結集して、今度こそ県下でたゞ一つのこれまでも取り上げられる事なく将来に悔をのこさない様心構えを致しましょう。



教育委員会は十二月一日現在で、今年小学校へ入学する児童の学令簿調製を行ってまいりましたが、このほど次の通りまとまりました。

入学される皆様を祝福し、明るく健やかに学園生活を過す様望みます。調製期後の異動や、もれて居る方がありましたら速やかに教育委員会へ届け出下さい。

(カッコ内は保護者名)

△上半原  
三島一慎(繁一) 長谷川良子(助雄)  
△下半原  
中川誠(一郎) 山本安司(光治) 石神信行(市三) 中山キヨシ(昭二) 横山安男(義男) 木島宏(清馬) 石神芳隆(芳雄) 広瀬和彦(亮一) 木島千代美(清市)  
△箱ヶ瀬  
三島智一(幸雄) 山田茂喜(一) △伊勢  
三島智一(幸雄) 山田茂喜(一) △伊勢

### 冬の奥越雪の祭典

#### 第六回奥越スキー大会

二月二十五日、折からの晴天に恵まれた和泉村、公民館、福井新聞社、共催の奥越他児の雪戦の跡は次の通り。



青年部 一位 田中 勝美 二位 山本 忠光 三位 阿部健太郎  
壮年部 一位 三島 幸雄 二位 谷 美好 三位 小沢 順平  
中学生部 一位 猿谷 直孝 二位 米倉 勇 三位 末永 紀夫  
少年部 一位 西 善作、沢 精一 二位 宮沢喜代志 三位 上村 和彦  
青年部 一位 河口 孝、田中勝美 二位 森尾清左エ門、山内修 三位 河口慶次、山本忠光、丸山義治



壮年部 一位 三島幸雄 二位 水谷 豊 三位 谷 美好  
中学生部 一位 古世尚治 二位 中山直美 三位 東 治義  
(写真は大会風景)

谷口清助(三郎) 島田雄治(一幸) 五島和代(秀夫) 中村三枝子(明) 山田陽子(秀雄) 野村澄江(利経) 帯刀たか子(幸太郎) 大杉順子(逸夫) 中内美代子(俊雄) 中久沢 高瀬清治(留雄) 高瀬隆吉(武夫) 野村みどり(敬雄) 周戸政子(治兵) 高瀬愛子(金松)

△板倉 林美鳩(一之) 川合 末永亨(秀一) 中山由貴枝(勉) 道岸淳子(政治) 野田淳子(宗一) 周戸里美(政治) 上田正己(義雄) 古世恒三(豊) 高浜美子(君雄) 森尾智美(仁作) 大野吉忠(忠夫) 朝日

### おめでとう 入学一年生

新屋隆興(喜久男) 表健一(俊四郎) 朝日前坂 新川利裕(利一) 東守治和(俊一) 加藤はるみ(義雄) 伊月 高崎きよみ(武尾) 小谷堂 上杉恵美子(登吾) 下山 村上龍夫(一得) 森隆夫(忠雄) 吉清隆(利栄) 坂下光治(栄) 島重俊(喜一) 東重和(千里) 林多美子(俊雄) 谷静枝(輝雄) 西範子(よし子) 上大納 柳原幸雄(文吉) 山崎政義(隆義) 江島和雄(正泰) 坂本栄馬(義一) 菊地秀之(義雄) 宮越誠(善一) 平野憲幸(藤市) 平瀬忍(久) 池田忍(義正) 多田健二(正治) 谷川建二(正一) 西谷淳郎(春雄) 谷口隆敏(由)

### スギの雪害

今年近年にない大雪で、造林者の皆さんは雪害について大変心配していられると思われ、全国的に全国林業改良普及協会が発行している「日本のスギ」を参考に、雪害について述べてみたいと思えます。

わが国では、森林の大半が山岳にあり、その面積の三分の一は積雪一メートル以上の地帯にあると推定されています。また、スギについて見ると、裏日本側で天然に分布している地方や造林されていくところは、大部分が多雪地帯にあり、表日本側のスギ林にしても、多くの場合、雪の降る地帯にあります。そのようなわけで、スギ造林にとって雪害は非常に重要な問題となっています。

### スギ林をまもるはた

まずよい面からあげますと、雪が積っているおかげで、冬の間にきびしい寒さから林木がまもられます。雪は雨量として、スギの生育に影響があるといえますが、多雪地帯の積雪は、苗木を霜柱、凍上、凍結などの寒害からまもるとともに大きな利点が認められます。これと反対に、雪は時に大きな被害の原因となり、雪が積るためにおこる直接的な被害は、林木が折れたりする状態と、押しつけられる部分の枝が曲つてしまふなどの部分的に変形する状態にわけられます。

雪害のうち回復のみこみがないのは、根倒れ、根元折れ、根元割れ、幹折れ、幹割れ、などです。梢の折れは数年間のうちに、新しく枝が出て立ちなおるものが多いが、曲りは、成長とともに少しずつなおって、程度が軽ければ、わからなくなつてしまふ場合があります。

スギ林の雪害対策  
雪害を受けにくいように、あらかじめいろいろな対策を考へておくことが大切です。そこでどのような手段をとれば被害を予防できるかを次に述べたいと思います。山の峰筋は、たとえ雪の積り方が浅くても土質がよくありませんし、風がまともによつてくるので、雪がたまりやすくなります。雪に圧されて倒れたままになったスギは、長くすくすく育ち、梢端ばかりが立上つて成長しますので、幹は傾斜したまま偏心成長をして、その

大納地区の男子壮年層は、自主的に「大納成人会」を結成して、互に親睦をはかりながら、教養を高める場を持つと、立ちあがった。現在会員が三十四名、毎月三と八の日、すなわち月に六回、成人学級を開いて時事を論じ合つて研究したり、謡曲の趣味を伸ばしたり、礼法を学んだりしている。特に月に六回の中の二回は阿弥陀経を習っているが、夜の静寂な中に遠く公民館から離れたところ

### 大納成人会の誕生

大納地区の男子壮年層は、自主的に「大納成人会」を結成して、互に親睦をはかりながら、教養を高める場を持つと、立ちあがった。現在会員が三十四名、毎月三と八の日、すなわち月に六回、成人学級を開いて時事を論じ合つて研究したり、謡曲の趣味を伸ばしたり、礼法を学んだりしている。特に月に六回の中の二回は阿弥陀経を習っているが、夜の静寂な中に遠く公民館から離れたところ

### 入学する子供

#### の精神衛生

今春はじめて学校という集団生活にはいる子供にとつて、新しい社会での生活は大きい刺激であり負担である。子供にこれまでわがままに育てられた子、ひとりっ子神経質の子、内気な子の弱い子などは、一そう影響があるから、就学して毎日元気よく愉快に学校生活ができるよう、今から少しづつ集団生活や友達とつきあひになれさせ自信をつけてやる必要がある。やかましくして、学校をこわがらせないで、学校にたいする子供の期待を明るく育ててやることだ。そのためのふんいきを家庭内でつくるような努力が必要である。

### 学童の作文

#### 劇をしていて



大和小五年 石神慶一郎  
学芸会で、僕たちが、でたのは「春を呼ぶ鳥」と、合唱の「歌の世界めぐり」の二つでした。歌の時に僕がひげをつけてでいて、見ている人たちが「クスクス」とわらっているようでは、かきかた。ちよつと横を見ると、あちやんの顔が目についた。かあちゃん「ニコリ」と笑つたので、僕はあわてて舞台の中央の方へ目をやつた。そして「おれたちはどうにも……」としやべつて、又その場にすわつた時、頭、手、顔、背中……からだ中がぼつぼつと熱くなり、足のひざこぶがガクガクとふるえた。他の人達のせりふも聞こえない。さつきまでよく見えたお客さんの顔もはつきり

わからぬ。さつきまでよく見えたお客さんの顔もはつきり音楽がなり出したので、それをまじかかると僕には後の幕の中へ飛びこんだ。

舞台からおりると、さつきより一そつと体が熱くなつたようだった。しかし劇は大たいうまくできた。お母さんも「上手にできて良かったね」とほめて下さつたので、うれしかった。

楽しかった学芸会  
大和小五年 大牧七郎  
まじにまつた学芸会が、いよいよ明日だと徳本先生にお聞きした時、はくの心はうれしさと、あの新しい大きな舞台でうまくできるかなと思つて一ぱいだった。きょうの練習の時、声はつきりだせたので、あすはきつとうまくできるだろうと思つた。

歌の世界めぐりがあつた。みんなしつかり歌つてうまうまだった。午後がよいよ問題のげきだった。はじめての舞台にたつた時は、あがつてしまつて、顔がもすくすくあつた。でもまぢがえすにだいたいうまくやれた。

うちへかえつてから、おばあちゃんが「お前が死んでしまつたので、悲しい所があつた」といつていた。家の人は、みんなじようずだったとほめてくれて、大変うれしかった。

見ていておもしろかつたのは、三年生の人形劇「どくがめ」だった。二年生の「ボスター」見えたか見えないか、たいへんおもしろかつた。「どくがめ」は、一休さんのお話によく似ていて、おもしろかつた。一休さんの本を読みながら見ていると、きつとおもしろいだろうと思つた。二年生の「ボスター」見えたか見えないか、たいへんおもしろかつた。

一年生の「船長さん」というおどろも、かわいらしいところがたつた。持穴分校の「ところどころ」も声はつきりして出てくる人がみんな上手だった。どれを見ても、みんな予行の時よりとはうまうまやれたと思う。一昨年の水害の後では、講堂もなく学芸会はいつになつたらできるかなと思つてたが、今年はこの盛大な学芸会ができて、僕たちはたいへんうれしな気分だと思つた。(写真は学芸会)